

## 2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

事業名	生活の足確保対策事業				
事業の概要	各地域と笠置町唯一の交通機関であるJR関西本線の笠置駅とを結ぶ町営バスの運行を行いました。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	5,305	本年度事業費	5,305	交付金交付額
事業の必要性	<p>木津町と南山城村を結んでいた奈良交通の路線バスがなくなった現在、児童や高齢者の各地域間の交通手段を確保する必要があります。</p> <p>また、近年の児童に対する犯罪が多発する中、集団移動を行うことによる防犯対策効果があると考えます。</p>				
事業の有効性	<p>免許を持たない児童や、比較的自動車の運転が困難な高齢者の交通手段を確保することにより、生活基盤の充足が図れ、高齢者の活動範囲の拡充、広くは若年層の定住化つながると考えます。</p>				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 住民の身近な交通手段の確保策として行っている本事業は、JR笠置駅からの汽車発着時刻に合わせた運行と相まって、年間の利用者数は約18,000人となり、当町での重要な住民サービスの1つとなっています。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				